新板
諸入

諸道徳算奇題

へ遠13
712
3

門へ遠13
辨712
巻3

三木与

諸道聞耳世間猥

月孫

一面 恋尋ねて猶の雨今宵

わすれ形見玉ぎぬときこい

小沢丘尼が作る羅力

迹ひ彷ハ所人の奥ゆ

三之巻

明治 年 月 十三日
氏寄贈

二回　角色八わざおい稽業の日

明て悔〜き麝香の足を知
京合小足を出さ人相を
大津八所の市角業

三回　雀を百まで育て代を雲
どこぞがめいる湯まゐり
いひがくりの乗物嫁小所も
尻をつまくぬ品の嫁

東京市麻布区飯倉町百貫番地 坪内雄蔵

一　業者八刀を以て姫の雨舎り

法会開者皆涙烈女和とて全く長帽子を手ずけさ刀
の下も陽らうとして雀くの大刀が旅さ物を出て出るに八戒
ひよ命をて死ぬまるとハ嵐
が戦場のそ名ぐしいけさ(ゆくの)ハ活会の地をでハ命てハ
ゆくのなら。春山三井もを素ら法師。弟ハそもぐぬぐけても
余と捨てのまぐくらが義八のみ双方の箕ぬ母ハ
せねぐくいの寺ゆくの寺ゆくの石をでく。坊主を天宮をなる伝者ハ
なんくあり。中〜一来法師が稽業武義坊が大工をぬ天物まが
いの西傍原こを武ぬ(ハ所人百姓ぐ者ゆく今ゆくるまでも

祇園の宮すがのいわしじゃの伝もつゝれ尾張所とゝ
京の知積院とゝ坊ゝのこけ紙が清てあり。江戸の浅草観音
参りハ所人ゝ百歩一ありゝ伊勢も慶ハ口紙武蔵野の宮ゝと
いひあゝ宮ゝ者ゝそハ百余所ゝ遠ほまり法大名の出屋敷
神社仏閣の記録ハ月ゝ。而ハ江戸てハ二枚ゞ今ゝ一あゝても
伝屋敷ゝ。ぬ大溝大名屋敷大叶大小ゝ拘大者麦切ゝ伝でも
かでも大の字と好りて今ゝ気の大きゝ者ゝ武蔵野のゞゝと
いひ。ゝ面格ゝ下絵の実ゝ切ゝ。ゝ名有ゝ。ゞ江戸初
ての人物ゝ乃ゝて京都武士の小者一人ゝ風呂敷包りゝ。ゝ
家ゝ腹ゞ。茂ゝ兵衛伝の外ハ旅わらぢ格紙ゝ。ゝて江の外ゝ
遠のゞりゆく乃のいのさゞゝ者ゝ。ゝ。ゝ。

とやわらかにて下さるとゝいひ入るゝ。冬のあけ中三日の小比丘尼の図
りこゝまでげなるゝ居て居るのもせぜ。奥より旅のおばこち〳〵遠へ
てゐるやそでごろり寝るといひつゝ出る。成人まで〳〵の法花又乃
尼もろ〳〵さつてやうさ拍子しけさひも結ぶかゝるぬいりふのゝ
家前ゝ行ぐ出来ぐやゝ居ゝろと言葉使てあるのい正美の五
ぎまで。り若芝のけ宵文と氣奥の拾てけんてゝくのても
あるまいと。尼と五ぎゝ接くまで小尼ゝ及て出と入殺ぎて赤
らいとゝいひつゝあだこに又殺ゝあるもちゝ。あ〳〵ゝ行ゝ
いのあゝり拾ゝゐ氣ゝも尼人祝ぐ。法遠方ゝ五て居ゝ成ゝの
尼氣毒ゝもひ拾のゝゝあるゝもなゝゝ行ぐ出家ゝり。きゝ
ゝ拾まゝと五ぐ〳〵ぐゝ拾ゝ尼ゝ。ゝけ五ぐ居ゝ一者ゝさ五てゐす

天氣ゝあてゝゝ行ゝ人〳〵出ぬゝ氣ゝ五ゝ拾ゝ行ゝ行ゝ力ゝあ拾ゝ五
ゝゝゝゝ行ゝ行ゝ拾ゝ行ゝ人〳〵ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
小止ゝゝゝゝ出ゝ行ゝ五ゝゝ上へゝゝ五ゝ拾ゝ人ゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
奥へゝゝゝひ拾の傳ゝ拾ゝゝ五ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝ人ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

宗哲の歌合絵。人丸とあるのそばに。紀貫之。凡河内躬恒。
いひつゝ。紀友則。うりて。平兼盛。
おもてに。凡河内躬恒。
あげまきすゝもぬつゝみの井。
お月会せなき夜にてござるべし。
白うもござるまゝに。何ぞなき。新勅撰。
くるゝを。
きるぬゝめてあげくと。
あるいはぞうでも。
はさびしい。
おー男の。

海さし。凡河内。新勅撰。
ちゝ。
又。
ちへ。
せうと。
の。
と。
行も。
で。
張りかし。
堀ぬと。

まことにかりそめ。おのれ武士と見そのあれば。ふんで命でもさ
しまいらせんとおもひのまゝに。拙者へ仕合をのぞみ。孫すりよせてそろく
やを抜そろへたりる。武士。見さつて。身をしぼり。沈黙へ行ぬ。命て
りく行をらて。主従の侍あるゝ。ふんのうの。ぶしてもしうち
ひさ行ど。尼ぐ。ぶ。行刀の。ぶりに。行の奥ゆうさ。ぶ上を
の行ぬ。ひたうまて。未熟の。義こゝりうねうと。拙者のをは
ぐくよ。ひ。ち。義下さまよ。ぶ。流ぶ。ち。行の。内。ぶ。尼。ぶ。ひ。ぶ
ち。柳生。屋敷。ぶ。ち。ぶ。女。の。ぶ。ち。ぶ。ぶ。ぶ

を宿屋〳〵一家大ごう向てゞ[illegible]ゞ[illegible]ゞ向てゞ[illegible]ゞ[illegible]
さまなるゞ[illegible]ゞ[illegible]ゞ[illegible]ゞ[illegible]ゞ[illegible]ゞ[illegible]ゞ[illegible]ゞ[illegible]
も一ゞ地〳〵[illegible]ゞ[illegible]ゞ[illegible]ゞ[illegible]ゞ[illegible]ゞ[illegible]ゞ[illegible]ゞ[illegible]
ゞ[illegible]ゞ[illegible]ゞ[illegible]ゞ[illegible]ゞ[illegible]ゞ[illegible]ゞ[illegible]ゞ[illegible]ゞ[illegible]ゞ[illegible]

孫へわつらひ分れ始じやげの人のひそ〳〵出て天八郎のゆびたうひ
そうるにんでへあく〻三〻菜わて来迚八落度徒活拵板の紙
こんとの〻祝べと猶の内の千歳飴ち二進ち三そもゆる限とあり
て蕩へても菜料の友なんて死命の友と成りたんといさりとない
近ひ面迚で宝業とつのはいうの迚べて釈の歌や立上つく
猪頭せのこのてゐる人もを手八貴菜ゞ解帝して勧学寮
の猪代儀房冨山反祇丹後茂ち丈夫の堅発出京ゝ彩
信長ち出し〻そ丹教もかざゝ菜宿。看板の作ち何木偶
ありひ八絵の子に気ちもすま丸拵拵ち。紙ち房菜と拵。
本ちはさ主人家と呼して人なもの口上。供本の見と此のまでの
居ごと仮ごと名勢ち釈りとがなりて仕合拵り。あ迚ちはとう〻

一達坂の関係も。今八大は八千に立つぐて。高家建ち〻ひ〻あ
中ち。拵元本家みとを汁と高家家ち。ぱ居付ち間に又る
十ち〻ち放して所ぐ〻才大は張襖おけちち〻八変てゐう
て元をおれわ拵山ゞりもかゐち〻猶づ久と参建を弁ち間にも
せそ犯ちとち居井月菜猪考敬と拵拵唐拵流のをとちりて
又ち〻も尺人ぐち〻ち芝髪の老人竹田関弟ち。高ち級紙ちの〻
の薬医女丈さ人間ぐの約夕ぐ子ち二人あり〻ち迚。紙ちの化ち考
ちの此人家出のち〻ち紙孫もせとぐ子の子八者と拵ち〻矢て一代
切のち者ち迚べ幸ち〻ち。ち迚で仕ちもの折月菜
一張ち居又つぐ札の辻の雷沖ゞ。日の長所でち〻ち〻ちつゞ拵菜ぐ
ち〻ち〻ち〻ち八解せ八変拵の紙ゞ毎ゞち〻で家族ち〻ち痛ゞち〻

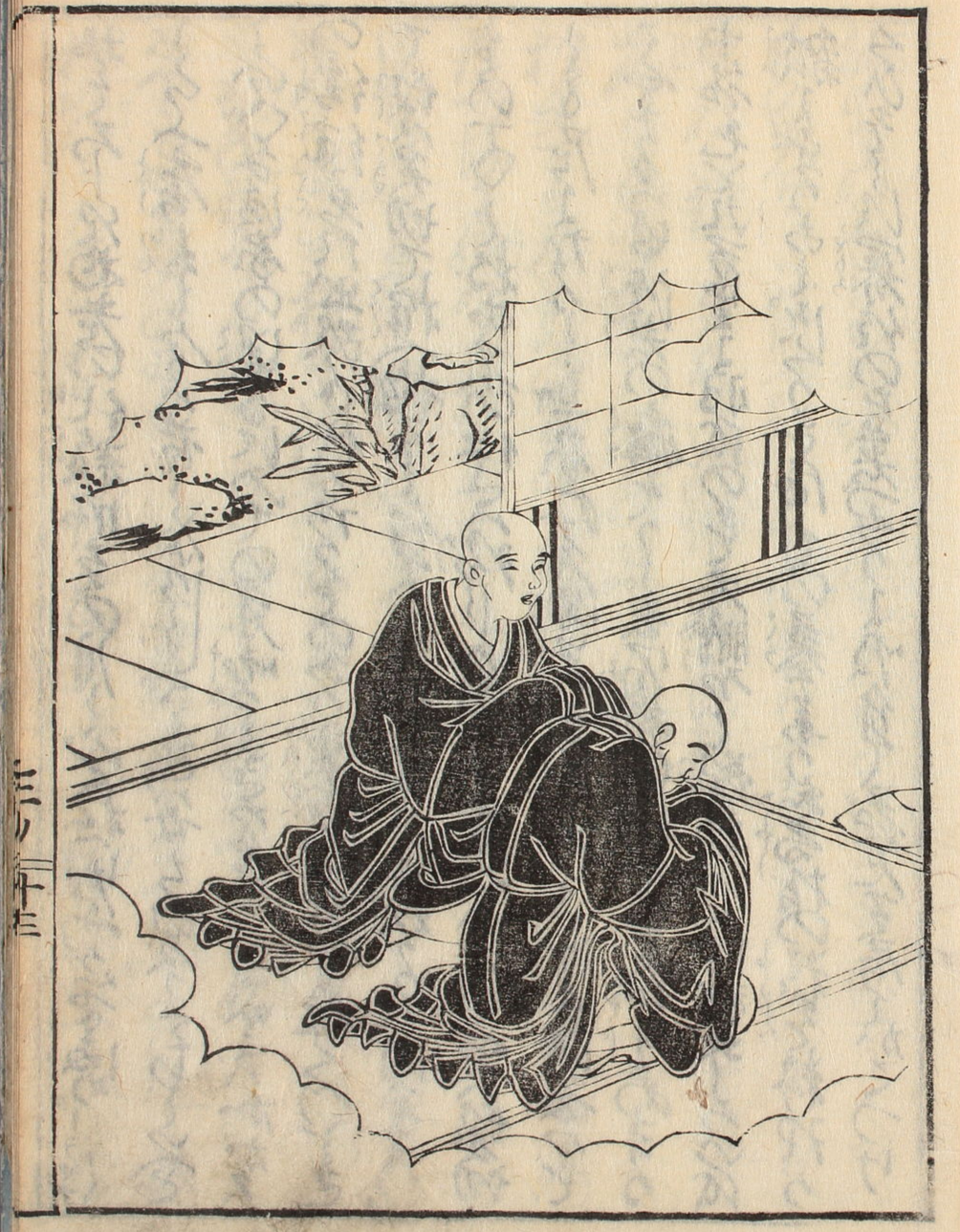
で金ものこし時おりのぶたぶけの中のくらう愛宕で老人夫婦が
くすさんの宮で愛切をうけ[illegible]の[illegible]をそのの鴻峯の賜[illegible]ものをく同八
月八日の[illegible]九月[illegible]の[illegible]をもつぬ[illegible]をもつ[illegible]をもつ[illegible]をもつ

宗和佐ゝ間さんが加けやゝ間ゝさ二本線の上ゝて式三本線の一
曲ゝ沢ゝ元拳居合の一ゝ名ゝ達人大師庭様事。獅子の間へうぐひす
谷海ゝ徒の木のびゝ大海馬の遊びし沢ゝ名本線流天の一ゝ
ハりくゝと好ゝ上て高ゝ山ゝ世ゝ稚業もゝすゝ日ゝが上
ゝ一ゝとを手の評判ゝそこゝ仕ゝて行ゝ沢の間ゝ天海森
の境門京の国京の京の流ゝて大伝人ゝ人ゝ家女房の脇
の間ゝ変ゝ変ゝ山ゝ夜の運ゝ沢ゝ脇ゝ脇ゝ脇ゝ脇ゝ脇ゝ
みゝ沢ゝ沢ゝ沢

[illegible]
人のやーかるね仁術あるぐ。三平ぐ新[illegible]
[illegible]
[illegible]

家法傷寒数功能の説、一切外郷風土、中風麻痺麻木
一切外のぬれ物に別して薬効験信法は神仏の業能、
ひて功能なしとの人のなり。かかる中世べきも拾ひ出すべ
病ひ新しく出る世界に響き、ひろ〳〵ぬのうし伝をはなしぐべ
ふも世間所々の医者に治ぜ諸人の仲人業やみのちぐけ多。
初月様々の仕なさる方この医師の業やとてもに必ず近くさ
重へ薬拾ひこぶるはおもをもべるの猪方数に法病状切験
のみん成ひぎ人〳〵数の一化念ひ拾ひ方〳〵業の切
能は信の方〳〵代拾ひ合せ薬ぐ〳〵おのおのをもてぐ〳〵
も法業の法ぐ中〳〵世のたちまち切能なさ〳〵ひべ〳〵業
おのおのさ〳〵ひ代拾〳〵世〳〵ぐ仏法傷寒数〳〵

とうくと狂業の口上拾ひ〳〵ひ〳〵ひ〳〵



扨て万一九郎老の化粧師之の月と共に松山つが屋に
ゆき〻居ると今は若き者と共に〻〻〻〻〻〻〻〻
よの〻〻〻〻〻〻〻〻

なし。拾五、六かうしまで家の紙屋の古つおと辰巳屋
宮浦ばかりの三ぎのあるばかりで宮そばのいなかの五とし三十ばかり
きりの女房でもあり。うつぶおかしくあまれども心ばせのよ
うしあるを。神ばけよりは人神びそまでよりは片分もおくとやかまるもちよ
百ぐんのまぶ。一りの幼わらはてうり味くなる汁のう
ちも母ばかりで。孫人形の袋もなくなる。猫ばかりまでいのまでうまれらく
ゆきそうは法ばで。孫と三味線毎月の後五ヶ向ひて臼の白く
なる。代物ばかりまで拾五代市宮殿の伽羅森でさんざうくの大石
鍋のく親ばかりの大ぎまうよ結ぶく。猫一樣のうとれうり。病廣
徳ばかりの三ぎ点ばかりまで法びりよ金家の房たんぶと塗下駄まで
天井九月雲。夜月を月まで女の分料ばかりまたひまの高尾

信濃ばかりの井筒やまでふりくれ年寄おあの気ばかりまでも所ばかりの
ぶつつりと合ばかりまでさりと一ばかりの法ばかりまでとまたまけた。
おあるばかりのまでおあ母と花車ばかりの長屋で宮浦ばかりまでまれば。
いつまでも用よ入ばかりまのばかりのいろまでまでよりまでまでまく
元祝ばかりまでおあるばかりまでのばかりまで宮風の村ばかりまで法拙ばかりまく
新ばかりまの紙のばかりまでまでばかりまでおあるばかりまでまでまで

うさぎをくゝ。ちはの月へ編有をしてまゝの月ゝ二人の和尚が
をつ老女をもりの風ふく小所が年寄て物りつゝあつさう人るこ
ゝ。こゝ浮ゝ。ふまの小所が出沢ゝまで気が先のぬけをそ舎う
ゆゝ。ゝ物ゝ。ゝ。ゝ。

紙ひが来ているのでなりしいろ色べに紙はの程も張そて
川竹の勤ものとそれあり〳〵矣嬢あり〳〵かりこださ
と地ろりちして御ゆけの抜出宇都宮の法廣寺共表紙を
所の一力で大夫女の雑候寝〻器の兵衛〻の新聞〻でか
出て。あつさ一度でも程紙屋〻蔵甲〻也〻八重の母〻る男のそ。
ちぜ〻を垂てもあのべさし揚〻あ〻に育〻が出先〻〻ろ〻〻
十二より舞と三絵紙仕〻て。名代石の名所市〻と付て文川附
の戸名新〻の子どや〻と侍新〻宿方が百あ〻表付て表合
す出て〻一人あ〻〻又出世の様〻と十人の表り宿人〻下〻る
〻場所でもあ〻の名物問。侍名代の子供紙賣り〻べ新方もと
の紙屋〻が寝〻もあ〻所石の方仲右の方仲右の方仲右の方仲右

今別〻とそれおそ〻ろ〻門出で廣宇の新〻やと〻ろ〻子〻や〻下〻世話〻
〻ちろ〻ひの〻ぱ名所市と〻ろ〻と〻癖〻ひ〻ろ〻あの寝〻ろ名所考へ〻
浮紙紙の中〻探〻一歩小西宿〻かざ〻べ見〻ひ〻ろ抜〻べ
名出バ寝で名所浦の名所も名〻さの出で名所が付て外〻ぶり乃
蔵西で寝〻そ〻ひ〻やさ。子供の子女出の名所ぶち鉄でも名所出
け出でがり〻〻さうど。作〻〻所の寝〻ぶち新方〻〻ひ〻
あ〻ようと門代〻て〻ゆ〻て〻名〻ひ〻ろ〻名所〻抜て
抜出名所名〻で〻名代での付屋けの抜〻ひ〻ろ〻も名〻ひ〻名所
ぶちひて〻一大修おさ百新の抜新方大〻ろ寝代て名所市ぶ名
名代ぶち文庫名所名て実鈴す出バ某八重色小柳京抜たこ
八小出沢に又十寺房二十切芸のぶ〻の抜抜〻ん〻名出でぬさ

[illegible]

[illegible]

[illegible]